

放射線測定装置の特徴

Ge半導体検出装置



γ線・X線のエネルギーを測定できる。入射したγ線・X線がGe半導体内で変換され、そのエネルギーを分別する能力が高く、線源のRIを特定できる。

NaIガンマカウンタ

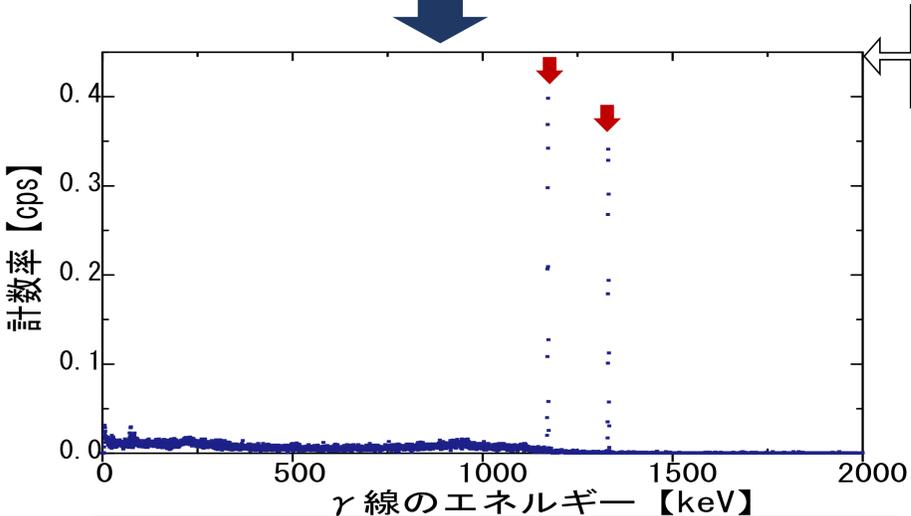


γ線・X線のエネルギーを測定できる。入射したγ線・X線と発光物質(シンチレーター)との相互作用によって放出される光を測定し、その計数の感度が高い。

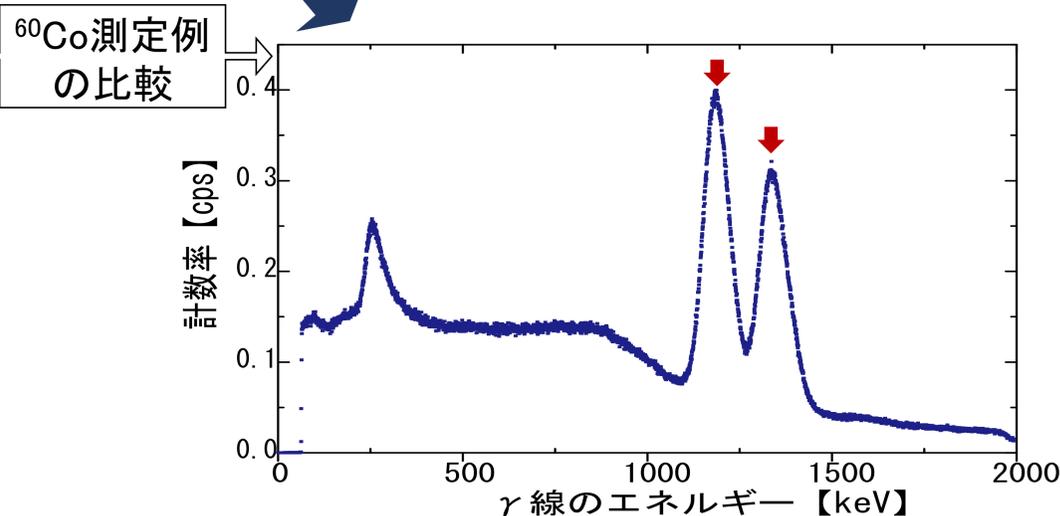
液体シンチレーションカウンタ



低エネルギーのβ線・γ線を測定できる。試料を液体シンチレーターに溶かし、β線・γ線との相互作用によって放出される光を測定する。三重水素(トリチウム)の測定も可能。



Ge半導体検出装置の測定結果(⁶⁰Co)



NaIガンマカウンタの測定結果(⁶⁰Co)

RI共同利用施設の使用法と注意点



RI共同利用施設を使って実験をしたいなあ～



放射線取扱業務従事者として教育訓練を受講する※3。

RIを利用するために必要な健康診断を受診する。

湘南放射線管理センターに従事者として登録する。

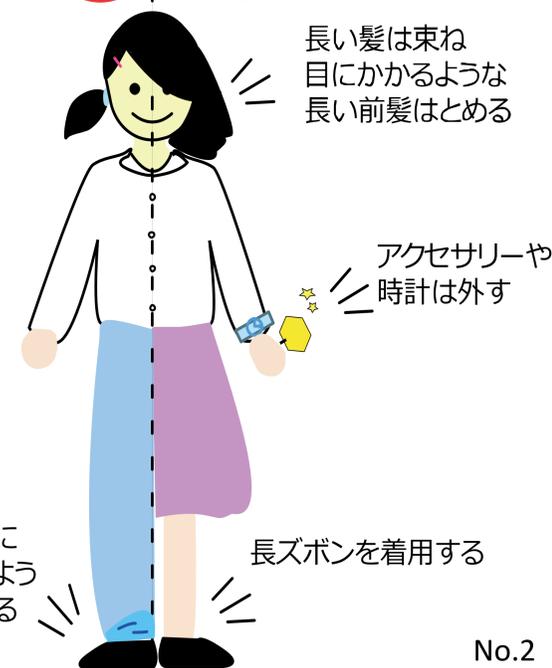
※3 年度毎に数回、開催される。日程などを当センターのウェブサイト以案内。

(株)千代田テクノHPより



RIを使用する実験開始前に「ガラスバッジ」を着用する。ガラスバッジで実験者の被ばく線量が測定・管理される。

ふさわしい恰好 | ふさわしくない恰好



RI共同利用施設内における注意点

— 服装 —

- ① 長ズボンを着用する。ズボンは床に接触しないよう裾を上にもつ。
- ② 実験中には長い髪を束ね、アクセサリーや時計を身につけない。
- ③ 専用の実験着に着替える。実験着から衣服の一部がはみ出ないようにする。

— 行動 —

- ④ 飲食・喫煙・化粧は禁止。
- ⑤ 手で目・鼻・口などの顔の一部に触れない。

靴下をはき
ズボンは床に
接触しないよう
裾を上にもつ

長ズボンを着用する